

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

Soeda
Public
Relations



新米、
シシ汁、
つきたて餅
今年も賑わう里山の秋

DEC.2017

12

No.674

●第20回上津野収穫祭(詳細は6ページ)

添田町 人事行政の 運営状況



添田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき町の人事行政の運営状況をお知らせします。

図役場総務課総務係 ☎82-1231

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間

始業時間	終業時間	休憩時間	1週間の勤務時間
8時30分	17時15分	12時～13時	38時間45分

※ 職場などにより上記と異なる場合がある。

(2) 休暇

休暇の種類(主なもの)		休暇の期間
年次有給休暇		年 20日
病気休暇		結核性疾患の場合、1年以内 その他の疾病の場合、90日以内
特別休暇	職員の結婚休暇	連続する5日の範囲内
	産前・産後休暇	産前6週間(多児妊娠の場合は14週間) 産後8週間
	妻の出産休暇	2日の範囲内
	子の看護休暇	1の年において5日の範囲内
	忌引き	親族に応じ1日から7日の範囲内
夏季休暇		1の年の7月から9月までの期間に 3日の範囲内

6 職員の服務の状況

区 分	内 容	違反者
法令等及び上司の職務上の命令に従う義務	法令に従い、かつ、上司の職務命令に従わなければならない	0
信用失墜行為の禁止	職の信用を傷つけ、又は職の不名誉になるような行為をしてはならない	0
秘密を守る義務	職務上知り得た秘密を漏らしてはならない	0
職務に専念する義務	勤務時間中、職務にのみ専念しなければならない	0
政治的行為の制限	政治的活動をしてはならない	0
争議行為等の禁止	ストライキ等をしてはならない	0
営利事業等の従事制限	営利を目的とする私企業を営み、又は役員等になり報酬を得てはならない	0

7 職員の研修の状況(平成28年度)

研修内容	受講者数
派遣研修(民間企業などへの派遣)	1人
福岡県市町村職員研修所研修	延 57人
特別研修 (業務遂行上必要な資格取得のための研修)	0人
一般研修 (人事評価研修など)	延221人
人権・同和研修 (田川地区自治体同和研修など)	延350人

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

平成28年4月1日～平成29年3月31日

内 容	降 任	免 職	休 職	降 級
分限処分者数	—	—	1人 (傷病等)	—
懲戒処分者数	—	—	—	—

5 職員の退職管理の状況

職員の退職状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

退職者数	管理職職員	管理職以外	合 計
退職者数	0人	1人	1人

退職時に管理職にあった者についての公益法人等外部の組織に再就職した状況

再就職先	公益的法人	非営利団体	営利団体	その他
再就職者数	0人	0人	0人	0人

1 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 職員の任免状況

年度 任免	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
採用者数	22	6	4	8	3	1
退職者数	6	4	7	6	4	1

(2) 職員数の推移

年度 部 門	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	過去5年間の 増減数と率(%)	
一般行政	113	111	114	110	105	103	△10	△8.8%
教育	18	20	20	20	22	23	5	27.8%
消防	—	—	—	—	—	—	—	—
普通会計	131	131	134	130	127	126	△5	△3.8%
公営企業等会計	15	15	14	15	15	16	1	6.7%
計	146	146	148	145	142	142	△4	△2.7%

※各年における定員管理調査において報告した部門別職員数

(3) 年齢別職員構成の状況(各年4月1日現在)

職員数 区分	20歳 未満	20歳 ～23歳	24歳 ～27歳	28歳 ～31歳	32歳 ～35歳	36歳 ～39歳	40歳 ～43歳	44歳 ～47歳	48歳 ～51歳	52歳 ～55歳	56歳 ～59歳	60歳 以上	計
平成28年度	0	2	22	29	12	14	16	15	14	10	8	0	142
平成29年度	0	3	9	36	15	11	16	18	12	13	9	0	142

2 職員の給与の状況

(1) 職員給与費の状況(平成28年度普通会計決算)

職員数 (A)	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)
127人	4億5,912万 7千円	5,568万 5千円	1億7,834万 6千円	6億9,315万 9千円

【参考】一人当たり給与費(B/A) 525万1千円

- 職員手当には退職手当を含まない。
- 職員数は、平成28年4月1日現在の人数である。
- 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない(平成28年度については、任期付短時間勤務職員は5人)

(2) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成29年4月1日)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
添田町	39.3歳	291,727円	323,040円

- ※1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における職員の基本給の平均である。
- 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したもの。

(3) 職員の初任給の状況(平成29年4月1日)

区 分		添田町	国
一般行政職	大学卒	178,200円	178,200円
	高校卒	146,100円	146,100円

(4) 職員の手当の状況(平成29年4月1日現在)

手当(主なもの)	内容及び支給単価	国の制度
扶養手当	配偶者10,000円 子8,000円 配偶者のない職員の扶養親族 子10,000円、父母等9,000円 16歳から22歳までの子1人5,000円加算	同左
住居手当	貸家貸間12,000円を超える部分最高27,000円 自宅新築及び購入5年間月額2,500円	自宅に係る 手当はなし
通勤手当	交通機関利用者全額支給55,000円限度 自家用車利用者2km以上2,000円～31,600円	同左
管理職手当	監督管理職にあるもの 給与月額の15/100以内	官職に応じ定額支給
宿日直手当	一般の宿日直 日額4,200円 常直 月額21,000円	同左
期末手当	2.60月分(再任用については1.45月分)	同左
勤勉手当	1.70月分(再任用については0.75月分)	同左
時間外勤務手当	正規の勤務時間以外に勤務した職員に対して支給	同左

(5) 特別職の報酬等の状況(平成29年4月1日)

区 分	給料月額等	期末手当
給料	町 長	762,000円 2.60月分
	副町長	611,000円 2.60月分
報酬	議 長	304,000円 2.60月分
	副議長	269,000円 2.60月分
	議 員	248,000円 2.60月分

人事評価制度を導入しています

職員一人ひとりの能力を引き出し、育て、活かして、住民から期待され信頼される職員に成長すること、および職場のコミュニケーションの円滑化を図り、組織の活性化を図るため人事評価を実施しています。

●評価の種類

【業績評価】

- ①期初に設定した目標の達成度を期末に評価

【行動評価】

- ①成績評価：仕事の正確さや迅速性について評価
- ②能力評価：職責を果たすうえで発揮された能力について評価
- ③態度評価：仕事に対する取組み姿勢を評価

●対象者

休職などの事由がある者は除き一般職の全職員

住民サービスの
向上を目指します



綱吉 吉は正保3（1646）年の戌年生まれで、動物のなかでも、特に犬を大切にしたことから「戌公方」と呼ばれました。現在、綱吉と英彦山の間では、3回の面会が確認できます。

最初の面会は延宝9（1681）年6月1日に江戸で、英彦山座主の相有が綱吉の將軍就任のお祝いと、相有自身が座主を無事に継承できたことに對するお礼を述べています。2回目は京都聖護院との本末関係の論争に勝訴したことによるものです。英彦山では慶安4（1651）年以来、聖護院を本山とし、英彦山を末寺とする論争が生じており、元禄9（1696）年3月27日に幕府より、英彦山は聖護院

※1 英彦山で組織化されていった山伏集団を総括する指導者

の末寺ではないことが認められ、翌日の28日に相有が江戸で綱吉と面会しています。3回目は同15（1702）年7月1日で、この時も江戸で相有が面会しておりますが、その詳細な内容は不明です。

これら3回の面会后、綱吉は宝永6（1709）年1月10日に死去しますが、その後も英彦山との関わりがあります。小倉藩第2代藩主の小笠原忠雄が綱吉の死去に伴い、小倉開善寺で執り行った法要への参加です。参加人数は不明ですが、学頭坊や実門坊などの有力な坊たちと相有が法要に係わる協議を行っていたり、法要へ参加する坊などが読經の練習をしていたりと、事前に入念な準備をしていたこと

が分かります。

將軍死去に伴う法要に参加した事例は、現在のところ第3代將軍の家光とこの綱吉の2件が確認できます。家光の法要も小倉開善寺で執り行われており、英彦山からは120名が参加して、有覺という僧侶が導師を勤めています。2件の法要では楽器を奏でた法要も行っており、英彦山の僧侶は京都の御所で楽器を習うなどしています。

英彦山では峰入りと呼ばれる肉体的にも厳しい修行に励むだけではなく、音楽などの教養も身に付けようとしており、文化的な教養が高かった地域と言えるのかもしれない。文／西山絃二学芸員（まちづくり課文化財係）

●【参考文献】廣渡正利編「彦山編年史料近世編」（文献出版2003年）

※2 法要に際して中心となる僧侶のこと

戌公方と呼ばれた徳川將軍 綱吉と英彦山の歴史

今回の歴まちコラムは、来年の干支の「戌」にちなみ、「戌公方」（犬將軍）と呼ばれた江戸幕府の第5代將軍徳川綱吉と英彦山の関係を紹介します。



中野犬屋敷の跡碑（東京都中野区）。綱吉の時代、現在の中野区を中心に約30万坪の犬屋敷を作り、8万匹の犬がいたと言われています。現在は、犬屋敷があったことを伝える犬の石像があります。

11 月19日、市町村対抗福岡駅伝郷土のたすきをつなぎ、躍進賞獲得

この駅伝は、中学生からシニアまで幅広い世代の男女の選手が郷土の誇りを胸に、9区間30・1キロを疾走し、一本のたすきをつなぐもので今年で4回目。添田町からは、内野恭一監督（上落合二）のもと15人の選手団で参加しました。昨年は総合59位という結果でしたが、今回は、総合50位と順位を上げ、タイムも前回より



↑郷土の代表として、チーム一丸となってたすきをつなぎ、躍進賞を獲得した添田町チーム

大幅に更新。チーム一丸となって、たすきをつなぎ、前回より好成績だったチームに贈られる躍進賞5位を獲得しました。レース後、「この結果に甘んじることなく、来年はさらに上位を目指そう」と闘志を燃やす選手たち。来年も開催予定です。足に自信のある人は、一緒に挑戦してみませんか。

添田町国民健康保険からのお知らせ



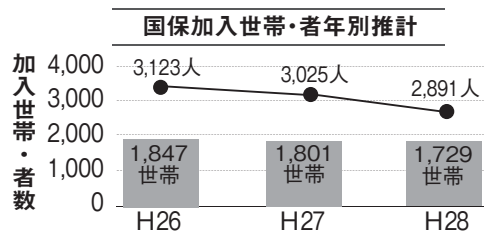
添田町の国民健康保険事業は平成28年度、1億1,210万円の赤字決算となりました。今月号では、町の国保の厳しい現状を平成28年度決算を踏まえてお知らせします。

病 気やけがをしたときに、安心して医療を受けることができるよう、お互いが助け合って医療費を負担し合う、医療保険制度である国民健康保険事業（国保）は、加入者の国民健康保険税で支えられています。現在の国保は市町村ごとに運営されていますが、平成30年度からは、県も市町村と一緒に運営します。

県は、市町村ごとの国保事業費納付金の額を決定し、市町村はその納付金を納めます。この納付金を納めるため必要な費用について、県が示す標準保険料率等を参考に、保険料率等を決定し、加入者が保険料（税）を支払うことになります。

① 減少する国保加入者数

国保に加入している人は、人口減少や後期高齢者医療（75歳以上）に移行する人が増加しているため、年々減少しています。



② 赤字が続く国保会計の決算

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳入	12億9,394万円	16億 936万円	14億5,988万円
歳出	14億1,044万円	16億8,635万円	15億7,198万円
差引	△1億1,650万円	△7,699万円	△1億1,210万円

●国保会計の決算状況（平成26年度～28年度）

平成25年度決算から赤字分を翌年度会計から繰上充用する大変厳しい状況が続いています。国保会計は、年齢構成や医療費水準、所得水準など構造的な問題があり、福岡県下でもほとんどの市町村が赤字となっています。

③ 増加が見込まれる保険給付費

国保会計の主な歳出である、保険給付費（医療費等）は、年度によって増減があります。しかし、今後は、高齢化が進むことなどから、増加が見込まれます。

●保険給付費の推移（平成26年度～28年度）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
保険給付費	9億3,564万円	9億4,853万円	8億7,000万円
一人あたり	299,598円	313,562円	300,934円

④ 制度見直しにご協力をお願いします

●一人あたりの平均保険料額（添田町と県内市町村）

一人当たり平均保険料	平成26年度	平成27年度	平成28年度
添田町	54,437円	56,363円	58,557円
福岡県内市町村	83,711円	—	—

●添田町国保税率

	医療保険分	後期高齢者支援分	介護保険分
所得割	8.00%	2.00%	1.00%
資産割	20.00%	3.00%	2.00%
均等割	18,000円	5,000円	6,000円
平等割	20,000円	6,000円	4,000円
賦課限度額	540,000円	190,000円	160,000円

平成26年度の福岡県内市町村一人あたりの平均保険料額は83,711円で、添田町の54,437円の約1.54倍となっています。町では、平成27年度に税率の改正、平成28年度に軽減判定の見直しを行いました。大幅な増収とはなっていない状況です。

平成30年度からは、県が国民健康保険の財政運営の主体となるため、県内の医療給付費に対して、国等が負担する公費負担分を除いた金額を国民健康保険税で負担する必要があります。この国民健康保険税負担分を県内の市町村で分担し、添田町が負担する金額（納付金額）をまかなうことになります。今後、添田町の税率は、県から示される「標準保険料率」を基に算定することとなります。添田町の国保の状況を踏まえ、制度見直しにご理解とご協力をお願いします。



身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。

添田の秋はイベント満載



ワイド版 My Town Topics

まちの話題

力士の皆さんに元気もらいました

貴乃花部屋がサングリーンそえだを慰問

貴乃花部屋の貴乃花親方、貴公俊さん、貴源治さん、貴健斗さんの3人の力士が、11月8日、サングリーンそえだに慰問に訪れました。身体の大きな力士の登場に、入所者の皆さんからは大きな歓声が沸き起こり、笑顔があふれました。短い時間でしたが、写真を撮ったり握手をしたりしてふれあい、交流を楽しんでいました。



↑間近で見る力士に、皆さん大興奮の様子でした

人生を振り返り、老後を考えました

男女共同参画推進事業「人生サポート講座」

オークホールで11月12日、弁護士法人女性協同法律事務所の山崎弁護士を講師に「人生サポート講座」～自分らしく生活するために～をテーマにセミナーを行いました。参加者は老後にかかる経費や、遺言書とエンディングノートなどについての基礎的な知識を学習し、実際にエンディングノートの作成に取り組みました。



↑誰しもが迎える最期。「終活」を真剣に考えました

フランス料理作りをマスターしたよ

プロに学ぶ調理実習

調理技術の向上と、仕事に対するプロの姿勢を学ぶため、11月14日、添田中学校3年生が、キッチンTAKASE(川崎町)の高瀬シェフを講師に調理実習を行いました。今回はローストビーフとメークインポテト、シフォンケーキ作りに挑戦。生徒たちは、下ごしらえから盛り付けまで、一つひとつを丁寧に学ぶことができました。



↑みんなで協力して美味しい料理ができました

椎茸栽培に尽力した功績が認められ

仲道さんが農林水産業特別功労者表彰

しいたけ椎茸の生産を行う仲道愛蔵さん(上落合二)が福岡県農林水産特別功労者として表彰されました。添田町椎茸生産組合長として、生産技術の向上や生産者のネットワークづくりなどに取り組んできた仲道さんは、県徳用林産振興会副会長として、椎茸などの徳用林産物の振興に尽力した功績が認められての表彰となりました。



↑長年にわたり福岡県の林業振興に貢献した仲道さん

今川の清流を願い、サクラを植樹

第4回今川流域市町村連絡協議会植樹

河川環境の保全などを通して地域活性化に取り組む今川流域市町村連絡協議会(会長・寺西明男町長)が11月23日、行橋市で植樹を行いました。今回の植樹には寺西町長をはじめ、田中純行橋市長や道廣幸赤村長、井上幸春みやこ町長らが参加。ソメイヨシノ20本を今川の清流が後世まで続くよう願いを込め植えました。



↑流域4市町村長がソメイヨシノを植樹しました

開館18周年、感謝の気持ちを込めて

道の駅歓遊舎ひこさん大感謝祭

11月19日、歓遊舎ひこさんで、18周年の大感謝祭が行われ、多くの買い物客で賑わいました。当日は、添田産の新鮮な野菜や道の駅むなかたの海産物をはじめ、コンニャクやつきたてのもちなどが販売。また、日ごろのご愛顧に感謝の気持ちを込め、豪華賞品が当たる抽選会が行われるなど、大賑わいの一日となりました。



↑新鮮野菜を求め、多くの人が足を運びました

↓今年も大盛況のうちに終わった収穫祭。20周年を記念して、神楽ともちまきも行われました



感謝を込めて20回目の収穫祭

上津野収穫祭

11月3日、上津野活性化センター周辺で、上津野村づくり推進協議会(松崎和彦会長)主催の上津野収穫祭が行われました。「天候にも恵まれ、こうして20回目を迎えることができ、感謝の一言です」と松崎会長。会場では、ヤマメ釣りや射的のほか、ジビエの串焼きやおしるこ、焼きそばなど、地元の皆さんによる料理の販売や、毎年恒例の花の競りなどが行われ、来場者を楽しませていました。



↑美味しいもも焼きも販売されました

全員そろって無病息災を願う

薬師堂秋季大祭

11月5日、盗難された木像3体が今年8月に無事、戻ってきた上中元寺地区の薬師堂で、秋季大祭が行われました。上中元寺観光協会の山本文一会長が「3体が戻ってきて、13体が揃ってこの日を迎えることができ、ほっとしている」とあいさつ。家族そろって1年間、無病息災で過ごせるように願っていました。式典終了後は、太鼓の演奏や婦人会による踊り、恒例のもちまきなどが行われ、来場者を楽しませていました。



↓薬師如来座像と木像12体が全てそろって行われた大祭



↓無病息災を願う人々①。社会福祉法人添寿会職員は勇壮な太鼓を披露しました②

↓大人から子どもまで楽しめるワークショップや物産販売が行われ、多くの人が訪れていました



ドームの中で星空を体験

SO★E★DA星空フェスタ2017

10月28日、そえだドームで、NPO法人アートもん(崎山香王里代表)主催のSOEDA星空フェスタが行われました。会場には星空にちなんだ髪かざりやブローチなどのアクセサリやグッズが販売され、キラキラ星降るドームやピカピカスティックを作るワークショップでは、子どもたちが楽しそうに体験していました。また、ドームの中ではプラネタリウム鑑賞も行われ、長い列ができていました。



↑飾り付けに夢中になっていました



誰にでも幸せに生きる権利がある

真木小学校で人権学習

真木小学校3年生10人を対象に、人権教室が行われました。人権擁護推進委員の皆さんの話に耳を傾けたり、紙芝居を見たりして、一人ひとりが違いを認め



↑風船は風に乗り雲の向こうまで飛んでいきました

合い差別のない世の中で幸せに生きられるように学習しました。最後はみんなで校庭に出て、メッセージとひまわりの種を風船につけて、思いを込めて飛ばしました。

早期鎮火に向け本番さながらの訓練

添田町消防団秋季消防訓練

秋の火災予防運動の一環として11月12日、添田町消防団（田中久美男団長）がそえだサン・スポーツランド周辺で秋季消防訓練を行いました。今回は、原



↑火災が増える冬を前に本番さながらの放水訓練

野火災を想定し、自然水利を利用した送水中継訓練を実施。各団員が10本以上のホースをつなぎ、約200メートル先で放水し、本番さながらに消火活動を行いました。

ボランティアがダム周辺の除草作業

油木ダムを美しくする会

油木ダムを美しくする会（金子鳴身会長）による除草作業が11月5日に行われ、北九州市や行橋市、九州電力のボランティア、地元の皆さんなど約260人が参加しました。終了後は、地元で採れた山菜弁当やシシ汁、焼きシイタケがふるまわれ、参加者は、津野の旬の味覚を味わいながら、作業の疲れを癒していました。



↑子どもから大人まで多くの人が参加した除草作業

シイタケの収穫が今から楽しみです

津野小児童がシイタケの駒打ち体験

11月14日、添田町林業クラブ（小田宣和会長）の皆さんを講師に迎えて津野小学校3・4年生の3人が、シイタケの駒打ちを体験しました。クヌギとナラの



↑打ち忘れがないか確認しながら丁寧に作業します

木に空けた穴に、シイタケの菌がついた駒を金づちを使って丁寧に打ちこんでいく児童たち。2、3年後に収穫する予定で、児童はとても楽しみにしている様子でした。

元気な演奏と歌声を響かせました

町内小学校音楽発表会

町内小学校音楽発表会が、11月8日、オークホールで行われました。この日のために、一生懸命練習に励んできた児童たち。心をひとつに元



↑リコーダーを演奏する落合小学校の児童たち

気よく合唱を披露したり、リコーダーや和太鼓などの演奏を披露したりしました。各学校の特色を活かした発表に、訪れた保護者たちからは盛んな拍手が送られていました。

高齢者が参加したくなるプログラム

長崎市からふれあいサロンに視察

長崎市町立公民館連絡協議会の役員など約40人が11月8日、オークホールで添田東ふれあいサロンを視察しました。高瀬知恵子代表がふれあいサロンの活動内容や地域の高齢者が参加したくなるプログラム作りなどについて説明。また、健康体操では、長崎市の皆さんもスタッフと一緒に体を動かし、楽しんでいました。



↑ふれあいサロンのスタッフと健康体操をしました

↓寺西町長は「伊川さんから多くの人の活動で安心安全な町がつけられている」と感謝していました



元気な添田町の姿を北九州で

英彦山男魂祭

7月の九州北部豪雨災害で、現地開催ができなくなった英彦山男魂祭が11月12日、復興イベントとして小倉井筒屋クロスロードで開催されました。会場には、深倉峠を紹介するパネルや男魂みこしを展示。寺西町長や二区深倉観光協会の下坂会長、小倉井筒屋本店の睦店長によるみこしの除幕式が行われ、みこしの前で記念撮影する人の姿も多く見られました。また、深倉の新米すくいどりには長蛇の列ができ、農産物や加工品の販売、長谷の里のもも焼き、歓遊舎ひこさんのブースでは、威勢のいい掛け声に引き寄せられるように人々が足を止め、旬の味覚を買い求めました。

↓二区深倉観光協会による200食限定のぜんざいの無料ふるまいや、物産販売は大好評でした



これからも夫婦仲良く健康で

第47回金婚式

添田町社会福祉協議会（宇都宮多美子会長）主催の金婚式が11月10日、町民会館で行われました。式には、結婚50周年を迎えた夫婦13組と60周年を迎えた9組が出席。宇都宮会長が「激動の時代を二人で乗り越えてきた皆さんの経験や思い出を若い世代へ伝えてください」とあいさつ。高木美好さん（下落合）は「喜びも困難もあったが夫婦二人で乗り越えてきた。これからも夫婦二人で力を合わせて頑張っていきたい」と謝辞を述べました。出席者は、バナナのたたき売りや保育園児の合唱と演奏を楽しみながら食事をしたり、会話を弾ませたり、仲むつまじく過ごしていました。

↓夫婦二人で支えあい、力を合わせて、今日まで歩んできた結婚50年㊦と60年㊦を迎えた皆さん



12月生まれ HAPPY BIRTHDAY

おめでとう



ゆうと
山中 優歩ちゃん
12月30日生 ④・下中元寺

優歩、3才のお誕生おめでとう！
心の優しい優歩♡いつも沢山の感動
をありがとう♡



なぎ
平尾 凧ちゃん
12月30日生 ①・真木

なぎくん、1歳おめでとう。こ
れからも、たくさん食べてたく
さん遊ぼうね！大好きだよ♡

1月生まれは、12月12日☑
までに投稿ください！



3歳までのお子さん
募集中です

お子さんの写真にメッ
セージを添えて、役場総
務課広報・秘書係まで持
参してください。下記の
アドレスから、メールで
投稿することもできます。

☑ 役場総務課広報・秘書
係 ☎ 82-1231

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前
の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50
文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先
koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

まちかど特派員投稿

秋月で歴史的風致を実感 町三公民館主催第4回歩こう会 町三公民館からの投稿です

11月19日、
町三公民館
(清水正義
館長)活動
である「歩
こう会」を
実施しまし
た。冷え込
みの厳しい中、32名というたくさんの方が参加
しました。本年度は重要文化財「中島家住宅」
を中心とした町づくりと呼応して「秋月」を目
的地としました。秋月では、武家屋敷と商家の
古びた格子の町並み、そして、田園や河川の自
然景觀との調和・形成された歴史的風致を実感
することができました。昼食後は、黒門や長屋
門、秋月城址の苔むした石垣を見ながら、桜の
名所「杉の馬場」を散策し、買い物などを楽し
みました。また、多くの観光客に、私たちの町、
中島家住宅が修復され、本町通りが整備され
たら、これだけの人が来てくれるだろうかと、せ
ん望のまなざしを交わしながら、無事に「歩
こう会」を終えることができました。特に、車窓
から見る北部豪雨で被災された爪痕に胸を痛め、
亡くなられた方々を悼み、一日も早い復興を願
い、帰路に着きました。



↑杉の馬場を散策する「歩こう会」の皆さん

心をひとつに優勝目指して

添田中学校合唱コンクール

添田中学校の生徒が11月11日、オークホールで合唱コンクール
を行いました。今年のテーマは、誰もが花という意味を込めて「百
歌斉放～一人一人が花になれ～」。生徒たち
は、学級合唱や、ブロック合唱、迫力のあ
る全校合唱、それぞれで声の強弱や表情な
どを意識しながら、練習の成果を発揮でき
たようでした。



↑少し緊張した様子でしたが、一生懸命に歌っていました

30回の節目を迎えた秋のイベント

第30回ふる里まつり

10月28日と29日の2日間、そえだサン・スポーツランドで、第
30回ふる里まつりが行われました。あいにくの雨の中での開催と
なりましたが、多くの人が町内の旬の味覚
や、姉妹町美深町の特産品を目当てに訪れ
ました。また、開催30回を記念し、彦山が
らからの絵付け体験や、記念風船の配布が
行われ、賑わいをみせていました。



↑ステージや絵付け体験など、楽しいイベント満載でした

昆虫と土と手を細部にこだわり描く

第29回MOA美術館田川児童作品展

第29回MOA美術館田川児童作品展で添田小学校6年生の村滝
悠生くんが1,166点の中から添田町長賞を受賞しました。村滝くん
は大好きなカブトムシとクワガタムシが自
分の手に登ってきているところを生き生き
と表現。また、添田小学校6年生の荒木佳
穂さんが十二単や書院造りなどの日本文化
を描き、福岡県知事賞を受賞しました。



↑「カブトムシやクワガタムシと土の色を工夫した」と村滝くん

文芸歳時記



【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

意を決しリング丸ごとかじりけり 諫山 静香

小数点に惑わされいる秋である 池 三太

千代紙の兎は跳ねる今日の月 安永 藻香

働ける喜びに生き今年藁 石谷タツ子

ススメススメ今もからっぽ露の墓 牧野八寿子

里山に人の声するそばの花 松尾 春揚

風がきて次の風きて芒原 森田 竹子

すすき原誰かに呼ばれいるような 大池みどり

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

良き言葉うまれざれども秋惜しみ

広きすすき野ゆれかすかなり 大塚 成子

見上ぐれば三日月細く尖りゐて 五十嵐田鶴

何処までも青く澄みたる空に浮く 大塚 富江

雲は光を抱きて白し 大塚 富江

岩石山の裾野に鎮座のみ社の 平井 朝子

大銀杏の葉ひらひらと散る 平井 朝子

パチパチと皆にカメラを向けられて 木村 寛子

着物の孫の嬉しげな笑み 木村 寛子

美術館の屋根より高き大銀杏 福富 廣枝

小春日を駅から寺へのんびりと 福富 廣枝

椎の実こぼるる石段のぼる 荒巻ミサ子

【俳句 添田福寿句会】

九十過ぎて健やかな日々秋高し 熊谷トシエ

登校子の明るい笑顔照紅葉 鶴原 幸江

静けさや落葉踏む音ついて来る 安藤はじめ

【俳句 投稿】

堤防の銀杏金色に映え陽光まぶし 村岡 清香

二胡の音ときに高鳴る宵月夜 島津余史衣

帽子屋にハロウインの魔女の靴 斎藤智寿子

碧眼の和服連れなす秋祭 柴田 一世

丸石を見つけ蹴りゆく野菊道 天野ユキ海

新蕎麦の香り漂ふ寺厨 立花 克明

【短歌 投稿】

今は無き墓塚にある思ひ出は 濱田イサオ

秘密基地にし遊んだ昔 濱田イサオ

生涯の一日は終わる冬の夜の 独活山強実

淡く小さなともしび消せば 独活山強実

●1月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

12月12日☑までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書い
てください。

☑ 役場総務課広報・秘書係 ☎ 82-1231



教育のひろば

キーワードは「志」 そえだドリームプロジェクト

「夢や希望を持てるそえだの子ども」を目指し、義務教育9年間をとおして取り組んでいる「そえだドリームプロジェクト」。1月は小学校4年生を対象とした「二分の一成人式」、中学校2年生を対象とした「立志式」を行い、子どもたちの将来の夢や希望に向けた頑張りを応援します。

●10年後の成人に期待を込めて 二分の一成人式

10歳という節目にあたる小学校4年生が、親への日ごろの感謝の気持ちや将来の夢を発表します。児童たちが将来の夢や希望の実現に向け、また一つ成長するための機会となることを願います。

●各学校の二分の一成人式の日程

- 落合小学校 1月19日(金) 13時55分～
- 真木小学校 1月26日(金) 14時5分～
- 添田小学校 1月26日(金) 13時30分～
- 中元寺小学校 1月26日(金) 14時～
- 津野小学校 1月27日(土) 9時40分～

●20歳の自分へメッセージ 添田中学校立志式

中学校2年生が、自分の思い描いた夢や希望に向かって努力する決意を表明します。二十歳になった自分へのメッセージとして手紙を書き、6年後の成人式に本人に手渡される予定です。



●添田中学校立志式

- ▶とき 1月12日(金) 13時30分～
- ▶ところ オークホール
- ▶内容 「二十歳のキミへ」(代表者発表)
- ▶講演 「命を見つめて
～瞳スーパーデラックス～」
講師 猿渡 直美氏

☎ 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

- ▼電子申請 12月15日(金)～平成30年1月7日(日)
- ▼書面申請 12月18日(月)～平成30年1月10日(水)
- 【受験準備講習会】
- ▼とき 平成30年2月10日(土)
- ▼ところ 田川地区消防本部
- ▼講習種類 乙種第4類
- ▼受付期間 12月11日(月)～平成30年2月9日(金)
- ☎ 田川地区消防本部危険物係 (☎ 44-0650)
- 特別養護老人ホームそえだ 介護職員募集
- ▼内容 利用者の介護業務全般
- ▼給与 月額16万900円～

保険・福祉

国民健康保険の特定健診、保健指導の個別健診を実施

特定健診は、メタボリックシンドロームや、生活習慣病の予防・改善に着目した健康診査です。毎年受診することで、健康状態をチェックできます。実施期間中はお近くの医療機関で受診できますので積極的な受診をお願いします。対象者には12月上旬に受診券を郵送しています。

▼実施期間 12月1日(金)～平成30年1月31日(水)

▼対象者 国民健康保険に加入している40歳～74歳で、今年度中に特定健診を受診していない人

▼料金 500円

※受診できる医療機関一覧は、受診券と同封して送付しています。

すので確認してください。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

女性特有がん無料クーポン有効期限は2月28日(水)まで

女性支援とがん検診の推進のため、5月に対象者に子宮頸がん検診の無料クーポンを発送しています。早めの受診をお願いします。

▼有効期限 平成30年2月28日

▼対象者 ▼子宮頸がん検診Ⅱ 平成8年4月2日～平成9年4月1日 ▼乳がん検診Ⅱ 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日

☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111)

生活保護電話相談会

▼とき 12月16日(土)10時～15時

▼相談方法 電話相談

▼内容 生活保護の要件、申請方法、受給中の借金問題、停止や廃止に関する相談に、司法書士が無料で応じます

▼相談電話番号 (☎ 092-722-4131)



Information 暮らしに役立つ情報満載

- 試験・募集
- 福岡県職員採用試験【特別募集】
- ▼試験日 平成30年1月14日(日)
- ▼試験会場 福岡市
- ▼採用予定数 ▼大学卒業程度(Ⅰ類)Ⅱ土木25人、農業土木8人、林業8人 ▼高校卒業程度(Ⅲ類)Ⅱ土木9人、農業土木4人、林業4人
- ▼受験資格 ▼Ⅰ類Ⅱ昭和63年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人 ▼Ⅲ類Ⅱ平成6年4月2日から平成

- ▼資格 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)以上
- ※経験者・介護福祉士等資格優遇制度あり。
- ※詳しくは問い合わせください。
- ☎ 特別養護老人ホームそえだ (☎ 82-4112)
- 危険物取扱者試験 受験準備講習会
- 【危険物取扱者試験】
- ▼試験日 平成30年3月4日(日)
- ▼試験会場 福岡県立大学
- ▼試験の種類 全種類

年末年始に向けて…知っておきたい選挙の知識

政治家の寄附行為は禁止されています

●みんなで徹底しよう「三ない運動」

「三ない運動」とは、政治家の寄附について「贈らない、求めない、受け取らない」ということです。公職選挙法の寄附禁止の規定によって禁止されている行為をしないようにし、明るい選挙、お金のからない選挙を目指しましょう。

●寄附行為は禁止されています。有権者が求めてもいけません

公職選挙法では、選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附をすることは禁止されています。また、選挙区内の有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。



禁止されている主なものは、次のとおりです。

- ▷お祭への寄附や差入れ ▷地域のスポーツ大会への飲食物の差入れ ▷秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典 ▷葬式の花輪、供花 ▷落成式、開店祝の花輪 ▷入学祝、卒業祝 ▷お歳暮やお年賀 ▷町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差入れ

☎ 選挙管理委員会 (☎ 82-1231)

各自で凍結の対策を

水道の凍結・漏水の予防と対策をしましょう



寒さが厳しくなると、水道管の凍結や破裂が予想されます。今年度も寒波が来る恐れがありますので、十分な予防・対策をお願いします。

●屋外に露出している水道管を保温しましょう

屋外に露出している水道管は最も注意が必要です。保温材、タオル、布などを水道管に巻いて保温することで、凍結が起きにくくなります。

- ①屋外に露出している水道管に保温材を取り付ける
- ②屋外に露出している水道管に厚手のタオル、布を巻きつけて濡れないようにビニール袋を巻き、その上からビニールテープを巻く



翌朝の最低気温がマイナス4度以下になると予想されるなど、冷え込みが厳しくなるときは、浴槽などに少しずつ水を出すなど、水道管の凍結を防ぐ工夫をしてください。

●水道が凍結して水が出ないときの対処法

気温の上昇で、凍結した水道管が自然に溶けるのを待つか、凍った水道管やじゃ口にタオルを巻きつけ、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしていきます。熱湯をかけたり、凍ったじゃ口を無理にひねったりすると、破損する恐れがあります。



☎ 役場水道課管理係 (☎ 82-5961)

人の動き

10月末日現在（ ）は前月比

- 人 口 10,208 人（－22人） ●出生 3 人
- 男 性 4,807 人（－7人） ●死亡 14 人
- 女 性 5,401 人（－15人） ●転入 18 人
- 世帯数 4,792 世帯（－3 世帯） ●転出 29 人

相談

●心配ごと相談（そえだジョイ／10時～15時）
12月19日☑、1月9日☑

●補聴器相談（役場ロビー）
12月8日☑（15時～）、12月13日☑（13時～）

●無料法律相談（オークホール／13時～16時）
12月15日☑

※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。

☎ 役場保健福祉環境課（☎ 82-1232）

●無料法律相談会
（福岡法務局田川支局／13時～16時）
12月12日☑、1月9日☑

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡（☎ 050-3383-5502）

●こころの健康相談（田川保健福祉事務所／予約制）
12月12日☑（10時～）、28日☑（14時～）

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課（☎ 42-9307）

●女性の健康相談・不妊相談（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約）
12月6日☑、1月10日☑（13時30分～16時30分）

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係（☎ 0948-29-0277）

納期限のお知らせ

●1月4日☑が納期限です

▷ 町県民税（4期）

▷ 国民健康保険税（6期）

▷ 後期高齢者医療保険料（6期）

☎ 役場住民課税務・滞納対策係（☎ 82-1234）

事件事故発生状況

10月の事件発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0（±0）	1（+1）
性犯罪	0（±0）	0（±0）
車上ねらい	0（±0）	0（±0）
空き巣・忍び込みなど	1（±0）	2（－6）
10月の事故発生状況（ ）内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
事故発生（物件+人身）	14（－1）	161（+1）
死亡者	0（±0）	0（±0）
負傷者	4（±0）	33（－18）

クアハウス運動教室

●水中運動で正月太りを解消しませんか
参加者募集中！

●期間 平成30年1月9日☑～3月16日☑
○ダイエット・筋力アップ教室 毎週☑・☑
①11時～12時、②14時30分～15時30分
○腰・肩・膝痛予防教室 毎週☑・☑
①11時～12時、②14時30分～15時30分
※参加費無料（ただし、施設利用料はかかります。）
☎ クアハウスハピネス（☎ 82-5061）

「いのちをいただく」著者
内田美智子先生講演会

全国で感動を呼んだ10万部超えのヒット作「いのちをいただく」の著者・内田美智子さんの講演会が福智で実現。助産師としての経験をもとに「命」をテーマにお話しします。

▼とき 12月16日☑ 11時～12時
▼ところ 福智町図書館・歴史

資料館「ふくちのち」（福智町）
ふくちのち（☎ 28-2855）

ジョイの大きなお風呂でほっこりしませんか

そえだジョイ4階の老人福祉センター「展望浴室」では、景色を眺めながらゆったり入浴できます。

▼料金 ▼町内70歳以上、身障者1・2級 100円（事前に申請が必要です）▼町内者 230円▼町外者 340円

▼受付時間 ▼火曜～日曜 13時～20時 ▼休館日を除く月曜日、8月13日～15日、1月1日～3日 13時～16時
▼休館日 第2・4月曜、12月29日～31日
☎ そえだジョイ（☎ 82-2600）

●懐かしい友と大人の再会

添田町成人式



●とき 1月7日☑
13時30分開式（受付13時～）

●会場 オークホール

●対象者 平成9年4月2日～

平成10年4月1日までに生まれた人

※該当者には、案内通知を送付します。

※家族も式典会場へ入ることができます。

☎ 役場総務課総務係（☎ 82-1231）

ありがとうございました
（敬称略）

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼（故）小島始（下落合）▼中田房子（下落合）▼（故）宮田一之（野田）▼（故）

迫本和歌子（町四）
○特別養護老人ホームそえだへ
▼慰問 ▼赤間徳夫（岩瀬）▼伊藤麗子（添田中）▼添田町老人クラブ連合会 ▼安永史宏（福津市）
（平成29年11月13日現在）

お知らせ

ラジオイベントカー90ちゃん号「旅ラジ」添田町公開生放送

▼とき 12月21日☑ 12時30分～12時55分
▼ところ 歓遊舎ひこさん
▼テーマ「農業から町を元気に！」
☎ NHK北九州放送局（☎ 093-591-5002）

カズ山本氏講演会

▼とき 12月22日☑ 18時～受付

▼ところ 川崎町勤労青少年ホーム（川崎町）
▼演題 「夢をあきらめるな!!」
▼入場料 無料／要申込
※詳しくは問い合わせください。
☎ 川崎町教育委員会社会教育課 社会教育係（☎ 72-3000）

童謡まつりinふくち

日本の童謡史に一時代を築いた音楽家・河村光陽氏の生誕地で開催される童謡まつり。7団体によるコーラスのほか、本人直筆の楽譜などを公開します。
特別展「河村光陽展」（12月2日

クリスマス
12月16日☑
参加無料

●とき
●ところ 町立図書館・児童館
●スケジュール
▷ 11時～11時30分

添田中学校吹奏楽部クリスマスロビーコンサート
（町立図書館・児童館ロビー／申し込み不要）

▷ 13時30分～15時30分（受付13時～）

クリスマスフェスタ2017

（町立児童館／要事前申し込み）

○パネルシアター（添田町虹の会）

○などとき宝さがし

※クリスマスフェスタは、申込書を児童館に持ってくるか、保護者からの電話で申込んでください。

※幼児は保護者が同伴してください。



☎ 児童館（☎ 82-3402）・図書館（☎ 82-4800）

一年末・年始一 業務と休み	
役場や各機関の年末年始の業務と休みは次のとおりです。お間違えないようにお願いします。	
役場・各関係機関代表（☎ 82-1231）	閉庁日／12月29日 ☑ ～1月3日 ☑
図書館・児童館（☎ 82-4800、82-3402）	休館日／12月28日 ☑ ～1月4日 ☑
英彦山スロープカー（☎ 85-0375）	運行時間 12月31日 ☑ 8時40分～15時10分・22時～3時10分 1月1日 ☑ 祝日から通常営業
そえだジョイ（☎ 82-5600）	休館日／12月29日 ☑ ～31日 ☑ 1月1日 ☑ 祝～3日 ☑ 休の受付は13時～16時 事務局／12月29日 ☑ ～1月3日 ☑ 休は休業
歓遊舎ひこさん（☎ 47-7039）	休館日／12月31日 ☑ ～1月1日 ☑ 祝 1月2日 ☑ 火～3日 ☑ 休の営業は10時～16時
しゃくなげ荘（☎ 85-0123）	通常通り営業（入浴10時～21時）受付20時まで
ひこさんホテル和（☎ 85-0121）	通常通り営業（立寄り湯11時～16時）
クアハウスハピネス（☎ 82-5061）	休館日／12月29日 ☑ ～1月3日 ☑ 12月28日 ☑ 休は9時30分～17時
町バス・まちいこカー（役場施策推進係／☎ 82-1236）	運休日／12月29日 ☑ ～1月3日 ☑ 休 ※町バスは12月29日 ☑ ・30日 ☑ 休は運休で、31日 ☑ 休～1月3日 ☑ 休は土・日・祝日の時刻表で運行します。
ごみ収集（役場環境保全係／☎ 82-1232）	定休日／12月30日 ☑ 休～1月3日 ☑ 休 ※個人でゴミをじん芥処理センターへ持ち込みできるのは12月28日 ☑ 休の16時まで。年始は4日 ☑ 休から。
し尿くみ取り	定休日／12月30日 ☑ 休～1月4日 ☑ 休 ※12月29日 ☑ 休までのくみ取りは、12月20日 ☑ 休までに予約をしてください。 ☎ 南桑野衛生（☎ 82-2288） ☎ 添田環境サービス（☎ 82-0450） ☎ 松村産業（☎ 32-3182）
水道当番	12月29日 ☑ 休／安藤水工（☎ 85-0527） 12月30日 ☑ 休・1月2日 ☑ 火／榊森下組（☎ 82-0174） 12月31日 ☑ 休／南毛利管工（☎ 82-1023） 1月1日 ☑ 月／南畠田建設（☎ 82-5857） 1月3日 ☑ 水／南筑添建設（☎ 82-4661）
田川地区斎場（☎ 42-8002）	定休日／1月1日 ☑ 祝
田川地区急患センター（☎ 45-7199） ※保険証を忘れずに。	診療日／12月30日 ☑ 休～1月3日 ☑ 休 受付時間／【内科・小児科】9時～12時、13時～17時、18時～23時 【外科】9時～12時、13時～17時
犬の捕獲 飼い犬・飼猫の引き取り	野犬などの捕獲／12月14日 ☑ 休まで ※年始は1月4日 ☑ 休からです。 飼い犬などの引き取り／12月20日 ☑ 休まで ※年始は1月4日 ☑ 休からです。 ☎ 福岡県田川保健福祉事務所（☎ 42-9309）



添田町総合文化祭

磨き抜かれた作品と芸の集大成を披露する添田町総合文化祭が、11月4日と5日の2日間、オークホールで行われました。生け花や習字、絵画などの展示のほか、ステージでは、踊りやカラオケなどの発表が行われ、日ごろの練習の成果を披露していました。会場には多くの人が足を運び、訪れた皆さんは、ステージ発表に拍手を送ったり、作品に見入ったりしていました。



町長室

▼今年も残すところあと1か月。今年の町政の重大ニュースのひとつは、7月の九州北部豪雨災害の被災です。被災された皆さん、地域には大変ご苦労をおかけします。いま、多くの皆さんのご支援のもと、復旧に対応しています。

▼先日、JR日田彦山線の被災状況等についてJR九州から説明がありました。「被災箇所での復旧の必要のある箇所が、63箇所、橋梁も5箇所（うち添田町2箇所）で被災している。切り取り崩壊や盛り土等の流失も多数発生している。橋梁や斜面の復旧は、同規模の災害にも耐えられる構造とすることで、復旧費として、約70億円を見積もっている」との説明でした。同時に、輸送状況の説明があり、「城野から夜明までの平成28年度の平均通過人員は1日1302人であり、この区間を詳しく見ると、城野から田川後藤寺間2595人、田川後藤寺から夜明間が299人であり、昭和62年から比べると755人/日減っている」ことも併せてありました。

▼このことに對し、添田町としては、「鉄道は復旧させる。断じて廃線はしない」という決意から、復旧・復興をお願いしました。復旧には、多額の費用がかかるということは承知しています。我々も国に對し、JR日田彦山線の復旧予算の支援等もお願いしています。

▼公共交通におけるJRの役割、使命を考えると、鉄道以外の輸送は考えられません。住民の生活を一日でも早く元に戻すという事からは「鉄道は復旧させる。断じて廃線はしない」という基本認識を持って頂き、復旧・復興にかかる費用をどう捻出するのか等を、いまは検討することだと思えます。

▼現在、添田駅から夜明駅までの間が不通になっています。この区間、非常に大変な状況であることは、承知していますが、復旧の手始めとして、比較的復旧しやすいと考えられる添田駅から彦山駅までの間の早期復旧をお願いしたいとの要望を行ったところです。これに對し「鉄橋の土台も傾いているため、同規模の災害にも耐えられる構造とするためには新しく掛け替える必要がある。これには多額の費用がかかるし、今後の対応との絡みがあり、直ちに復旧・運行にはならない。今後とも協議していきたい」との回答でした。

▼添田町にとつては、通勤通学等生活の足であると同時に、添田町の観光振興・まちづくりにとつて重要な交通手段です。是非とも早期に彦山駅までの復旧、運行を重ねて強く要望したところです。

▼「鉄道は復旧させる。断じて廃線はしない」という決意で、これからも関係自治体をはじめ福岡県と連携し対応して行きたいと考えています。我々もお願いに行こうと言う、町民の皆さんからの強い要望もありますが、皆さんには、是非、JR日田彦山線に乗って頂き、利用促進を図る取り組みでのご支援をお願いしたいと思っています。町民の皆様のご協力の程よろしくお願い致します。